

3. 事業報告書

事業報告書

令和4年度（令和4年4月1日から令和5年3月31日まで）

(1) 農作物共済関係

(引受)

年産	共済目的等		組合員数	引受面積	共済金額	徴収共済掛金 (A)	交付金又は 納入保険料 (B)	手持共済掛金 (A) ± (B)
令和4年産	水稻	半相殺方式	人 21,142	a 1,449,264.8	円 11,075,194,316	円 19,949,386	円	円
		全相殺方式	736	60,713.7	480,023,844	1,548,999		
		品質方式	57	6,493.3	56,324,607	180,313		
		地域インデックス方式	81	11,982.5	112,567,860	69,028		
		計	22,016	1,528,454.3	11,724,110,627	21,747,726		
	麦	半相殺方式	46	15,616.1	53,734,362	681,673	円	円
		全相殺方式	0	0.0	0	0		
		災害収入共済方式	30	138,112.7	688,449,587	13,066,299		
		地域インデックス方式	0	0.0	0	0		
		計	76	153,728.8	742,183,949	13,747,972		
合計		延 22,092 実 21,616	1,682,183.1	12,466,294,576	35,495,698	19,941,337	55,437,035	
令和5年産	麦	半相殺方式	41	17,508.8	69,367,029	849,096	円	円
		全相殺方式	1	461.0	2,486,348	31,440		
		災害収入共済方式	29	128,671.3	675,942,588	12,166,762		
		地域インデックス方式	1	507.0	1,905,440	48,511		
		計	72	147,148.1	749,701,405	13,095,809		

(参考)

共済目的	事項	組合員数	引受面積	共済金額	徴収共済掛金	交付金又は納入保険料	手持共済掛金
水稻	前年度対比 (%)	92.9	88.2	107.0	171.3	155.5	163.9
	事業計画対比 (%)		83.3	85.3	76.2	79.6	77.7
麦 (令和5年産)	前年度対比 (%)	94.7	95.7	101.0	95.3	96.4	95.4
	事業計画対比 (%)		85.1	87.7	75.1	121.2	79.6

引受の概況

(令和4年産)

【水稻】 一筆方式が廃止され、半相殺方式を中心とした引受となった。引受実戸数は21,542戸、引受面積は1,528,454.3aで前年対比88.2%(204,743.0a減)となった。

(令和5年産)

【麦】 引受実戸数は70戸、引受面積は147,148.1aで前年対比95.7%(6,580.7a減)となった。

(被害)

年産	共済目的等		被害組合員数	共済金	共済金 共済金額
令和4年産	水稲	半相殺方式	703人	45,474,199円	0.41%
		全相殺方式	23	2,093,200	0.44
		品質方式	3	1,126,701	2.00
		地域インデックス方式	3	154,600	0.14
		計	延 732	48,848,700	0.42
	麦	半相殺方式	4	66,927	0.12
		全相殺方式	0	0	-
		災害収入共済方式	3	541,928	0.08
		地域インデックス方式	0	0	-
		計	延 7	608,855	0.08
	合計		739	49,457,555	0.40

(参考)

	事項	被害組合員数	共済金
水稲	前年度対比 (%)	84.4	69.8
	1組合員当たり(円)		66,733

(参考)

	事項	被害組合員数	共済金
麦	前年度対比 (%)	43.8	13.3
	1組合員当たり(円)		86,979

被害の概況

【水稲】 8月中旬に前線の通過、9月下旬に台風が接近し、強風の影響による風水害が発生した。さらに、山間部を中心にイノシシによる獣害が発生し、県南部の移植田におけるスクミリンゴガイによる虫害が発生した。

【麦】 県下全域で、播種期にまとまった降雨があったことにより湿害が発生し、生育不良による減収が発生した。また、県南部では春先に断続的に降雨があり、生育が阻害され減収につながった。

(支払)

年産	共済目的等		支払月日	実支払共済金	共済金支払財源					実支払共済金 共済金
					保険金	手持掛金 充当額	法定積立金 充当額	特別積立金 充当額	その他	
令和4年産	水稲	半相殺方式	12月22日	45,474,199円	円	円	円	円	円	%
		全相殺方式	2月20日	2,093,200						
		品質方式	2月20日	1,126,701						
		地域インデックス方式	2月20日	154,600						
		計		48,848,700						100.0
	麦	半相殺方式	8月25日	66,927						
		全相殺方式	-	-						
		災害収入共済方式	11月22日	541,928						
		地域インデックス方式	-	-						
		計		608,855						100.0
	合計			49,457,555	0	49,457,555	0	0	0	100.0

(損害防止)

水稲共済加入者を対象に、イノシシ等侵入防止施設設置資材助成、病害虫防除用薬剤購入助成を実施した。

(2) 家畜共済関係

(引 受)

区分	項目	有資格 頭 数	事業計画 頭 数	引受頭数	引受頭数	共済金額	徴 収	納入保険料	交付金	手持共済掛金
					事業計画頭数		共済掛金			
		頭	頭	頭	%	千円	円	円	円	円
死亡 廃用 共済	搾 乳 牛	16,375	15,694	15,010	95.6	4,717,865	147,242,201			
	繁 殖 用 雌 牛	6,390	5,618	5,470	97.4	1,755,729	17,491,071			
	育 成 乳 牛 (子 牛 等)	7,783	7,141 (1,392)	7,112 (1,403)	99.6	1,632,712	13,743,199			
	育 成 ・ 肥 育 牛 (子 牛 等)	46,723	30,636 (6,414)	32,007 (6,009)	104.5	7,554,807	79,655,289			
	育 成 ・ 肥 育 馬	0	0	0	0.0	0	0			
	種 豚	4,050	0	0	0.0	0	0			
	肉 豚	31,211	0	0	0.0	0	0			
	肉 用 種 種 雄 牛	1	1	0	0.0	0	0			
	計	112,533	59,090	59,599	100.9	15,661,113	258,131,760			
疾病 傷 害 共 済	乳 用 牛	15,867	15,596	15,023	96.3	428,408	120,618,344			
	肉 用 牛	33,372	21,178	24,160	114.1	225,852	47,599,554			
	一 般 馬	0	0	0	0.0	0	0			
	種 豚	4,050	0	0	0.0	0	0			
	肉 用 種 種 雄 牛	1	1	0	0.0	0	0			
	計	53,290	36,775	39,183	106.5	654,260	168,217,898			
合計		165,823	95,865	98,782	103.0	16,315,373	426,349,658	0	425,974,271	852,323,929

() 内は、子牛等で内数

引受実績は期首引受のみ

引受の概況

ア 死亡廃用共済の引受農家数は、延1,091戸（搾乳牛170戸、繁殖用雌牛305戸、育成乳牛164戸、育成・肥育牛452戸）で、前年比63戸（搾乳牛14戸、繁殖用雌牛14戸、育成乳牛17戸、育成・肥育牛17戸、肉用種種雄牛1戸）減少した。

疾病傷害共済の引受農家数は、延649戸（乳用牛182戸、肉用牛467戸）で、前年比25戸（乳用牛16戸、肉用牛8戸、肉用種種雄牛1戸）減少した。

イ 死亡廃用共済の引受頭数は、59,599頭で、前年比136頭増加した。疾病傷害共済の引受頭数は、39,183頭で、前年比2,571頭増加した。

ウ 死亡廃用共済の共済金額は、15,661,113千円で、前年比358,160千円減少した。疾病傷害共済の共済金額は、654,260千円で、19,698千円減少した。

(事 故)

区分	項目	死亡廃用共済			
		死亡頭数	廃用頭数	総頭数	支払共済金
		頭	頭	頭	円
	搾乳牛	889	854	1,743	456,613,202
	繁殖用雌牛	74	57	131	35,178,417
	育成乳牛 (子牛等)	369 (310)	14	383	26,832,004
	育成・肥育牛 (子牛等)	1,634 (1,392)	77	1,711	230,326,781
	育成・肥育馬	0	0	0	0
	肉用種種雄牛	0	0	0	0
	計	2,966	1,002	3,968	748,950,404

()内は、子牛等で内数

区分	項目	疾病傷害共済	
		件数	支払共済金
		件	円
	乳用牛	28,924	360,353,757
	肉用牛	15,967	165,042,963
	一般馬	0	0
	肉用種種雄牛	0	0
	計	44,891	525,396,720

事故発生の概況

ア 死亡廃用共済

死亡廃用事故頭数は3,968頭（搾乳牛1,743頭、繁殖用雌牛131頭、育成乳牛383頭、育成・肥育牛1,711頭）で、前年比408頭増加した。

支払共済金は748,950,404円で、前年比12,062,793円減少した。

イ 疾病傷害共済

病傷事故件数は44,891件（乳用牛28,924件、肉用牛15,967件）で、前年比1,760件増加した。

支払共済金は525,396,720円で、前年比3,416,633円増加した。

(損害防止)

実施種目		対象頭数		経費概算	摘要
特定損害防止		845 頭		6,913,260 円	実施期間 令和4年7月～令和5年1月 重点事項 周産期疾患
一般損害防止	代謝プロファイルテスト (健康検査)	乳牛	40 頭	476,747	重点事項 血液生化学的検査 血液理学的検査 飼養管理改善指導
		肉牛	0 頭		
合計				7,390,007	

(診療所)

診療所名	職員数	管内		診療件数		損害防止事業			摘要
		有資格頭数	加入頭数	共済事故	事故外	一般	特損	経費概算	
生産獣医療	5 人	1,862 頭	1,843 頭	1,280 件	660 件	30 頭	138 頭	1,471,840 円	
南部	2	8,958	1,159	1,374	852	0	88	722,530	
西部基幹	5	13,260	9,876	2,617	1,158	0	161	1,316,410	
西部	5	8,549	6,859	1,814	917	0	87	719,650	
蒜山	6	3,717	3,769	3,779	1,767	0	99	803,420	
北部基幹	12	16,944	15,677	6,528	2,846	10	272	2,356,157	
合計	35	53,290	39,183	17,392	8,200	40	845	7,390,007	

前年度実績	37	53,743	36,612	18,653	8,333	16,310	5,515	23,253,663	
増減	△ 2	△ 453	2,571	△ 1,261	△ 133	△ 16,270	△ 4,670	△ 15,863,656	

1. 有資格頭数、加入頭数に肉豚及び胎児は含まない。
2. 損害防止実施頭数は延頭数
3. 職員数は令和5年3月31日現在

(3) 果樹共済関係

(引 受)

年度	果樹区分		組合員数	引受面積	共済金額	徴収共済掛金 (A)	交付金又は納入保険料 (B)	手持共済掛金 (A) ± (B)
			人	a	円	円	円	円
令和3年度 (令和4年産)	ぶどう	半相殺減収総合一般方式	155	2,512.2	228,878,000	1,114,428	803,058	
		半相殺減収総合短縮方式	28	632.8	70,180,000	386,091	381,216	
		災害収入共済方式	71	1,778.3	134,891,000	795,804	411,403	
		計	254	4,923.3	433,949,000	2,296,323	1,595,677	
	もも	半相殺減収総合一般方式	7	209.9	14,056,000	276,888	155,208	
		半相殺減収総合短縮方式	27	610.6	36,520,000	412,228	379,470	
		災害収入共済方式	2	47.5	1,277,000	28,855	△ 10,417	
		計	36	868.0	51,853,000	717,971	524,261	
	合計		290	5,791.3	485,802,000	3,014,294	2,119,938	5,134,232
	令和4年度 (令和5年産)	ぶどう	半相殺減収総合一般方式	135	2,164.3	201,463,000	1,053,110	
半相殺減収総合短縮方式			28	593.3	70,952,000	418,993		
災害収入共済方式			55	1,387.6	107,639,000	539,865		
計			218	4,145.2	380,054,000	2,011,968		
もも		半相殺減収総合一般方式	10	285.0	18,040,000	302,844		
		半相殺減収総合短縮方式	24	554.0	31,304,000	380,367		
		災害収入共済方式	1	19.5	558,000	9,056		
		計	35	858.5	49,902,000	692,267		
合計		253	5,003.7	429,956,000	2,704,235	2,471,560	5,175,795	

引受の概況 (令和5年産)

引受戸数はぶどうで218戸 (前年対比36戸減)、ももで35戸 (前年対比1戸減) となった。引受面積はぶどうで4,145.2a (前年対比778.1a減)、ももで858.5a (前年対比9.5a減) となった。

(被害)

年産	果樹区分		被害組合員数	共済金	共済金 共済金額
			人	円	%
令和4年産	ぶどう	半相殺減収総合一般方式	0	0	0.0
		半相殺減収総合短縮方式	1	23,640	0.03
		災害収入共済方式	3	802,283	0.6
		計	4	825,923	0.2
	もも	半相殺減収総合一般方式	0	0	0.0
		半相殺減収総合短縮方式	0	0	0.0
		災害収入共済方式	0	0	0.0
		計	0	0	0.0
	合計		4	825,923	0.2

(参考)

	事項	被害組合員数	共済金
ぶどう	前年度対比(%)	40.0	27.6
	1組合員当たり(円)		206,481

	事項	被害組合員数	共済金
もも	前年度対比(%)	0.0	0.0
	1組合員当たり(円)		0

被害の概況

【ぶどう】 7月中旬の多雨により肥大が進み裂果が見られた。また、収穫前の8月中旬以降、高温傾向が続いたため、成熟果房に軟化した未熟粒が混入する症状が一部で見られ、収量や品質低下の要因となった。また、出荷始めから晩腐病の発生が見られた。その他、イノシシ、サル、ハクビシンによる食害及び落果等の被害が発生した。

【もも】 7月上旬にカラスによる食害や落果、イノシシによる食害及び枝が折られる等の被害が発生した。また、カメムシによる虫害も発生した。いずれも共済金の支払には至らなかった。

令和3年産実績 参考

		被害組合員数	共済金	保険金
		人	円	円
ぶどう	半相殺減収総合一般方式	8	2,827,582	/
	半相殺減収総合短縮方式	0	0	
	災害収入共済方式	0	0	
	樹園地減収総合一般方式	2	165,180	
	樹園地減収総合短縮方式	0	0	
	計	10	2,992,762	
もも	半相殺減収総合一般方式	3	1,302,460	/
	半相殺減収総合短縮方式	0	0	
	災害収入共済方式	0	0	
	樹園地減収総合短縮方式	3	1,200,520	
	計	6	2,502,980	

(支 払)

年産	果樹区分	支払月日	実支払共済金	共済金支払財源					実支払共済金 共 済 金	
				保険金	手持掛金 充 当 額	法定積立金 充 当 額	特別積立金 充 当 額	その他		
令和4年産	ぶどう	半相殺減収総合 一般方式	円 0	円	円	円	円	円	% -	
		半相殺減収総合 短縮方式	12月2日	23,640					100.0	
		災害収入 共済方式	3月3日	802,283					100.0	
		計		825,923					100.0	
	もも	半相殺減収総合 一般方式	-	0					-	
		半相殺減収総合 短縮方式	-	0					-	
		災害収入 共済方式	-	0					-	
		計		0					-	
	合 計			825,923	0	825,923	0	0	0	100.0

(4) 畑作物共済関係

(引 受)

年産	項目		組合員数	引受面積	共済金額	徴収共済掛金 (A)	交付金又は 納入保険料 (B)	手持共済掛金 (A) ± (B)		
	畑作物区分									
令和4年産	大豆	半相殺方式	人 475	a 15,355.0	円 112,765,183	円 7,414,950	円	円		
		全相殺方式	27	2,480.2	9,709,266	390,708				
		地域インデックス方式	3	226.8	949,944	18,617				
		計	延 505 実 486	18,062.0	123,424,393	7,824,275				
	ばれいしよ	全相殺方式	実 7	127.0	1,951,733	78,116				
	合 計		延 512 実 493	18,189.0	125,376,126	7,902,391			6,147,169	14,049,560

共済目的	事項	組合員数	引受面積	共済金額	徴収共済掛金	交付金又は 納入保険料	手持共済掛金
大豆	前年度対比 (%)	94.0	82.2	99.5	110.4	円	円
	事業計画対比 (%)	—	78.9	95.5	106.0		
ばれいしよ	前年度対比 (%)	100.0	107.2	106.8	85.1		
	事業計画対比 (%)	—	105.8	106.7	84.0		
合 計	前年度対比 (%)	94.1	96.8	108.8	116.1	145.6	100.0
	事業計画対比 (%)	—	92.9	104.5	111.5	115.5	111.3

引受の概況

【大豆】 引受実戸数は、486戸（前年対比94.0%）となり、引受面積は、18,062.0a（前年対比82.2%）となった。引受方式の選択状況は半相殺方式を選択した農業者が9割強を占め、全相殺方式及び地域インデックス方式は1割弱であった。

【ばれいしよ】 引受戸数は7戸で、引受面積は127.0aとなり、引受戸数は前年同数、引受面積は前年対比107.2%となった。

(被害)

年産	項目		被害 組合員数	共済金	共済金	
					共済金額	
令和4年産	大豆	半相殺方式	人	円	%	
		全相殺方式	173	19,658,510	17.4	
		地域インデックス方式 ^(注)	11	2,501,134	25.8	
		計	-	-	-	
	ばれいしよ	全相殺方式	0	0	0.0	
	合計		実	184	22,159,644	17.7
			延	184		

(注) 統計が発表されていないため、翌年度に確定

被害の概況

【大豆】 生育初期の7月下旬から8月上旬にかけて、高温及び極端な少雨であったため、落花や落莢が多く発生し、着莢が非常に悪く青立ちとなり大きな減収となった。また、播種期にあたる時期に局所的・集中的な降雨があったことで、土壌が湿潤状態となり、発芽不良や以降の生育不良が発生した。6月下旬から8月中旬にかけてシカ（県東部）・ウサギ（県南西部）による子葉及び茎葉の食害が発生した。

【ばれいしよ】 開花期の高温乾燥により萌芽不良及び生育不良となった。また、株数が少なく、株自体も小さいまま生育が止まった状態のものも確認された。いずれも共済金の支払には至らなかった。

(支払)

年産	項目		支払月日	実支払共済金	共済金支払財源					実支払 共済金 共済金
					保険金	手持掛金 充 当 額	法定積立金 充 当 額	特別積立金 充 当 額	その他	
令和4年産	大豆	半相殺方式	3月24日	円	円	円	円	円	円	%
		全相殺方式	3月24日	19,658,510						
		地域インデックス方式 ^(注)	-	-						
		計		22,159,644						100.0
	ばれいしよ	全相殺方式	-	0						-
	合計			22,159,644	6,478,973	14,049,560	0	0	1,631,111	100.0

(注) 統計が発表されていないため、翌年度に確定

(参考)

	事項	被害組合員数	共済金
大豆	前年度対比 (%)	96.3	140.6
	1組合員当たり (円)		120,433
ばれいしよ	前年度対比 (%)	0.0	0
	1組合員当たり (円)		0

(5) 園芸施設共済関係

(引 受)

施設区分	項目	組合員数	引 受 棟 数	設 置 面 積	共済価額	共済金額	徴収共済 掛金(A)	交付金又は 納入保険料 (B)	手持共済掛金 (A) ± (B)
		人	棟	m ²	千円	千円	円	円	円
ガラス室	I類	25	74	11,957	121,010	99,369	100,408	62,549	162,957
ガラス室	II類	44	106	57,230	973,972	818,189	169,824	85,667	255,491
プラスチックハウス	I類	17	34	6,059	44,598	39,251	73,882	43,832	117,714
プラスチックハウス	II類	1,051	2,433	959,256	3,339,033	2,793,402	14,047,671	1,745,079	15,792,750
プラスチックハウス	III類	89	159	149,385	1,084,535	858,125	2,720,390	448,539	3,168,929
プラスチックハウス	IV類甲	66	105	82,610	780,335	666,841	716,986	377,719	1,094,705
プラスチックハウス	IV類乙	10	18	18,065	331,351	306,253	528,889	305,496	834,385
プラスチックハウス	V類	32	41	32,709	383,146	323,249	234,241	118,706	352,947
プラスチックハウス	VI類	127	597	136,608	360,226	277,067	2,147,562	542,031	2,689,593
プラスチックハウス	VII類	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計		延 1,461	3,567	1,453,879	7,418,206	6,181,746	20,739,853	3,729,618	24,469,471

引受実績は令和4年度に係る引受のみ

事項	項目	組合員数	引 受 棟 数	設 置 面 積	共済価額	共済金額	徴収共済 掛金(A)	交付金又は 納入保険料 (B)	手持共済掛金 (A) ± (B)
前年度対比 (%)		106.0	99.0	105.7	111.3	113.7	95.5	83.3	93.4
事業計画対比 (%)			87.4			100.2	84.3	73.4	82.4

引受の概況

県下的に栽培農家の高齢化等による引受の中止はあるものの、集団加入等を活用した加入推進による新規加入により、引受戸数は1,461戸(前年対比83戸増)、引受棟数は3,567棟(前年対比35棟減)、引受面積は1,453,879m²(前年対比78,250m²増)となった。

(被 害)

施設区分	被 害			損害の額	共 済 金					共済金	
	組合員数	棟数	附帯施設数		特定園芸施設	附帯施設	復旧費用	撤去費用	施設内農作物	合 計	共済金額
	人	棟	基	円	円	円	円	円	円	円	%
ガラス室Ⅰ類	3	8	0	207,072	165,654	0	0	0	0	165,654	0.2
ガラス室Ⅱ類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
プラスチックハウスⅠ類	2	2	0	53,170	42,536	0	0	0	0	42,536	0.1
プラスチックハウスⅡ類	140	180	4	36,381,800	28,413,237	740,808	0	20,880	0	29,174,925	1.0
プラスチックハウスⅢ類	8	9	2	4,667,612	3,495,459	252,684	32,801	0	0	3,780,944	0.4
プラスチックハウスⅣ類甲	14	17	0	1,097,651	883,517	0	0	0	0	883,517	0.1
プラスチックハウスⅣ類乙	1	1	0	22,234	17,787	0	0	0	0	17,787	0.1
プラスチックハウスⅤ類	4	4	0	225,095	219,206	0	0	0	0	219,206	0.1
プラスチックハウスⅥ類	15	19	0	663,661	499,276	0	0	0	0	499,276	0.2
プラスチックハウスⅦ類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—
合 計	187	240	6	43,318,295	33,736,672	993,492	32,801	20,880	0	34,783,845	0.5
前年度対比 (%)	346.3	352.9	300.0	1,033.6	1,075.7	389.7	∞	∞	—	1,025.7	—

被害および評価の概況

被害棟数240棟のうち、風害による被害で176棟（8,927,496円）、雪害による被害で51棟（25,147,583円）、その他の原因で13棟（708,766円）の支払を行った。

(支 払)

実支払共済金	共 済 金 支 払 財 源					実支払共済金
	保険金	手持掛金 充当額	法定積立金 充当額	特別積立金 充当額	その他	共済金
円	円	円	円	円	円	%
34,783,845	14,149,922	20,633,923	0	0	0	100.0

(6) 任意共済関係

1. 建物共済

(引受関係)

	加入棟数	共済金額	共済掛金			1棟当たり 平均共済金額	任意保険料	保険手数料
			純共済掛金	賦課金	計			
	棟	千円	円	円	円	千円	円	円
農家建物	86,780	877,410,460	532,636,462	363,942,227	896,578,689	10,111	292,280,511	99,988,434
前年度対比(%)	97.6	97.4	99.2	97.9	98.7	99.8	99.2	98.1

引受の概況

引受共済金額は8,774億円で、230億円（前年度比97.4%）の減少となった。また、1戸平均は1,011万円で2.1万円の減少となった。

(事故関係)

	事故棟数	加入総共済金額 (イ)	支払共済金 (ロ)			任意保険金	被害率 $\frac{(ロ)}{(イ)}$	備考
			火災等	自然災害	計			
	棟	千円	円	円	円	円	%	
農家建物	480	877,410,460	167,024,215	36,788,990	203,813,205	60,196,261	0.02	
前年度対比(%)	122.4	97.4	69.2	395.4	81.4	79.5	66.7	

事故の概況

事故棟数は480棟で、前年対比122.4%と増加した。原因別の件数は、その他（落雷、水道管凍結等）による被害が全体の56.5%を占めた。支払共済金は、2億381万円で前年対比81.4%となった。

事故の原因別	事故棟数	加入総共済金額 (イ)	支払共済金 (ロ)	任意保険金	被害率 $\frac{(ロ)}{(イ)}$	備考
	棟	千円	円	円	%	
火災	34	/	138,315,876	/	/	
自然災害	175		36,788,990			
その他	271		28,708,339			
合計	480	877,410,460	203,813,205	60,196,261	0.02	

2. 農機具損害共済

(引受関係)

	加入台数	共済金額	共済掛金			1台当たり 平均共済金額
			純共済掛金	賦課金	計	
	台	千円	円	円	円	千円
農機具損害共済	8,159	17,920,860	64,831,293	26,441,321	91,272,614	2,196
前年度対比 (%)	104.6	107.9	107.7	106.9	107.4	103.1

引受の概況

加入台数は8,159台で、362台（前年対比104.6%）の増加となった。加入共済金額は179億円で、13億円（前年対比107.9%）の増加となった。

(事故関係)

	事故台数	加入総共済金額 (イ)	支払共済金 (ロ)			被害率 $\frac{(ロ)}{(イ)}$	備考
			接触等	自然災害	計		
	台	千円	円	円	円	%	
農機具損害共済	239	17,920,860	57,878,007	239,392	58,117,399	0.32	
前年度対比 (%)	109.1	107.9	132.9	94.4	132.7	123.1	

事故の概況

事故台数は239台で、前年対比109.1%と増加した。原因別の件数では、接触事故が63.6%、異物の巻き込みが19.0%を占めた。支払共済金は、5,811万円で1,432万円（前年対比132.7%）の増加となった。

事故の原因別	事故台数	加入総共済金額 (イ)	支払共済金 (ロ)	被害率 $\frac{(ロ)}{(イ)}$	備考
	台	千円	円	%	
接触	152	/	23,173,613	/	
異物の巻き込み	49		11,118,889		
衝突	10		8,965,675		
墜落	10		7,989,074		
転覆	5		5,355,956		
獣害	1		226,098		
火災	2		416,212		
その他	10		871,882		
合計	239		17,920,860		58,117,399

3. 保管中農産物補償共済

(引受関係)

	加入口数	共済金額	共済掛金			任意保険料
			純共済掛金	賦課金	計	
	口	千円	円	円	円	円
保管中農産物	27	27,000	61,250	26,250	87,500	65,174
前年度対比 (%)	87.1	87.1	86.2	86.2	86.2	86.2

引受の概況

加入口数は27口で、4口（前年対比87.1%）の減少となった。加入共済金額は2,700万円で、400万円（前年対比87.1%）の減少となった。

(事故関係)

被害は発生していません。

(7) 農機具更新共済関係

(引 受)

加入台数	共済金額	共済掛金			1台あたり 平均共済金額
		純共済掛金	賦課金	計	
台	千円	円	円	円	千円
0	0	0	0	0	0

引受の概況

引受を実施していません。

(事 故)

事故台数	期間満了台数	加入総共済金額 (イ)	支払共済金			被害率 $\frac{(\text{ロ})}{(\text{イ})}$	備 考
			接触等・自然災害 (ロ)	期間満了に よるもの	計		
台	台	千円	円	円	円	%	
0	0	0	0	0	0	0.00	

事故の概況

引受を実施していません。

(8) 農業経営収入保険関係

(加入状況)

令和4年4月～令和5年3月に保険期間が開始した加入経営体

項目 経営体	加入 経営体	基準収入額		保険金額		積立補てん 対象金額		加入者負担 保険料		加入者負担 積立金		加入者負担 事務費	
		経営体	円	円	円	円	円	円	円	円	円		
個人経営体	1,318	10,169,963,234	7,265,039,899	878,994,713	78,062,416	219,749,136	21,176,820						
法人経営体	156	5,246,844,934	3,722,291,163	451,304,529	40,789,249	112,826,180	9,115,529						
計	1,474	15,416,808,168	10,987,331,062	1,330,299,242	118,851,665	332,575,316	30,292,349						

加入状況

加入経営体数は1,474経営体となり、個人324経営体、法人28経営体の計352経営体の増加となった。1経営体当たりの基準収入額は、個人経営体で約772万円、法人経営体で約3,363万円であった。また、主な対象品目は、米、果樹、野菜、豆類の順となった。

(保険金等支払状況)

令和3年1月～令和3年12月に保険期間が開始した加入経営体

項目 経営体	加入 経営体	支 払 済			
		支払経営体数	保険金	特約補てん金	合計
	経営体	経営体	円	円	円
個人経営体	621	256	172,907,759	171,618,448	305,356,207
法人経営体	109	62	201,487,763	173,381,253	315,939,016
計	730	318	374,395,522	344,999,701	621,295,223

支払状況

新型コロナウイルスの影響等により補てん金の支払いが増加し、加入経営体の約44%にあたる318経営体に対して、約6億2,130万円の保険金等が支払われた。

(9) 業務関係

ア. 重要な処理事項 (令和4年4月1日～令和5年3月31日)

年 月 日	処 理 事 項	年 月 日	処 理 事 項
令和4年 4月1日	辞令交付式、新採用職員研修会	令和4年 5月30日	第1回組合運営管理委員会
4月4日	第1回支所長会議、総務連絡会議	5月31日	指名競争入札委員会
〃	新採用職員外部研修(～5日)	6月3日	第9回通常総代会
〃	指名競争入札委員会	6月4日	事務職員採用三次試験(～5日)
4月6日	新採用職員OJT研修(～15日)	6月7日	第3回支所長会議・総務連絡会議
4月7日	第1回余裕金運用管理委員会	6月10日	農林水産省主催園芸施設共済推進会議
4月8日	任意共済担当者会議	6月13日	農林水産省主催家畜共済研修会
4月13日	園芸施設共済担当者会議	〃	第1回普及推進研修会(実践コース)(～17日)
4月15日	家畜診療所長会議	6月15日	農林水産省主催果樹共済全相殺減収方式の拡充に係る説明会
4月18日	第1回広報担当者会議	〃	コンプライアンス研修会、情報セキュリティ研修(15日、22日、24日)
〃	第1回コンプライアンス改善委員会	6月16日	園芸施設共済損害評価研修会
4月20日	収入保険担当者会議	6月17日	地区代表特定組合等参事調整会議
4月21日	全国広報参事等会議	6月20日	システム運用管理者養成研修会(Web技術・基礎コース)(～21日)
4月22日	第1回監事会	6月21日	園芸施設共済の加入推進に係る会議
〃	決算監査(本所、岡山支所)	6月24日	NOSAI協会第141回通常総会、全国連第17回通常総会
4月25日	決算監査(井笠支所、倉敷支所、高梁支所、西部診)	〃	第1回全国特定組合長・会長会議
4月26日	職階別研修(主幹職)	6月28日	中国地区家畜共済担当者及び家畜臨床研修担当者会議(～29日)
〃	決算監査(生産獣医療支援センター、南部診、勝英支所)	〃	第1回管理職研修会(7月1日)
4月27日	未収債権管理委員会	6月29日	果樹共済(もも)損害評価現地研修会
〃	決算監査(西部基幹診、真庭支所、新見支所)	〃	収入保険担当者会議
4月28日	決算監査(北部基幹診、蒜山診、津山支所、東備支所)	6月30日	第2回組合運営管理委員会
4月29日	事務職員採用一次試験	〃	指名競争入札委員会
5月9日	第2回支所長会議・総務連絡会議	7月3日	事務職員採用一次試験
5月10日	農機具共済専門講習会(制度コース)(～13日)	7月4日	懲戒委員会
5月11日	決算監査(本所)	〃	高梁地域農業保険事業推進協議会
5月12日	損害評価会全体会議	〃	第2回普及推進研修会(実践コース)(～8日)
〃	役員推薦会議	7月5日	農林水産省主催園芸施設共済推進会議
5月13日	農作物共済担当者会議	7月6日	第4回支所長会議・総務連絡会議
〃	家畜診療所長会議	〃	第1回内部監査(北部基幹診)
5月16日	第2回広報担当者会議	7月7日	備北地区役員会議
5月17日	第1回理事会	〃	農林水産省主催果樹共済研修会
5月21日	事務職員採用二次試験	〃	岡山地域農業保険事業推進協議会
5月23日	中国地区参事会議、中国地区組合長会議(～24日)	〃	第1回内部監査(南部診)

年 月 日	処 理 事 項	年 月 日	処 理 事 項
令和4年 7月8日	津山地域農業保険事業推進協議会、勝英地域農業保険事業推進協議会	令和4年 8月15日	第3回広報担当者会議
〃	第1回内部監査(西部基幹診)	8月16日	第1回内部監査(東備支所)
7月11日	第2回余裕金運用管理委員会	8月17日	第1回内部監査(高梁支所)
〃	備南地区役員会議	8月18日	損害評価会麦共済部会(半相殺)
7月12日	農林水産省主催園芸施設共済研修会	〃	第1回任意共済事業推進担当者会議
〃	新見地域農業保険事業推進協議会、真庭地域農業保険事業推進協議会	8月22日	建物共済損害評価技術研修会(～26日)
〃	第1回内部監査(西部診)	〃	第1回管理職養成研修会(～9月2日)
7月13日	第1回全国参事会議	〃	農業共済事業に係る共通申請サービス等の開発状況に係る説明会
〃	第1回内部監査(生産獣医療支援センター)	〃	農林水産省共通申請サービス(eMAFF)等に係る担当者説明会
7月14日	第1回西日本参事会議	8月23日	獣医師採用試験
7月15日	損害評価会園芸施設共済部会、任意共済部会	〃	収入保険に係るテレビ会議
〃	第1回内部監査(蒜山診)	〃	第1回内部監査(津山支所)(～24日)
7月17日	事務職員採用二次試験	8月24日	職員研修会、交通安全研修会(24日、26日、29日)
7月19日	第2回コンプライアンス改善委員会	8月26日	安心の未来拡充運動全国推進会議
〃	中国地区広報担当者会議(前期)	8月29日	第4回組合運営管理委員会
7月20日	情報セキュリティ委員会	〃	指名競争入札委員会
〃	農林水産省主催農業保険外交員研修会	8月31日	第1回事業運営検討会(組織関係)
〃	内部監査(真庭支所)	〃	第1回内部監査(井笠支所)
7月22日	第1回内部監査(勝英支所)	9月1日	辞令交付式、新採用職員研修
7月25日	第1回管理職養成研修会(～8月5日)	〃	第1回内部監査(企画情報課)
7月26日	津山支所・北部基幹家畜診療所建設委員会	9月4日	事務職員採用一次試験
〃	役員コンプライアンス研修・第2回理事会	9月5日	第6回支所長会議、総務連絡会議
〃	第2回監事会	9月6日	第1回内部監査(資産共済課)
7月27日	指名競争入札委員会	9月7日	第2回全国特定組合長・会長会議
7月28日	採用内定者会社見学会	〃	NOSAI協会第142回臨時総会、全国連第18回臨時総会
〃	第1回内部監査(倉敷支所)	〃	第1回内部監査(収入保険課)
7月29日	第3回組合運営管理委員会	9月8日	令和4年度収入保険担当者会議(～9日)
〃	倉敷・井笠地域農業保険事業推進協議会	〃	第1回内部監査(収穫共済課)
〃	第1回内部監査(新見支所)	9月16日	中国・四国地区収入保険担当者会議
8月2日	第1回内部監査(岡山支所)(～3日)	〃	第1回内部監査(家畜課)
8月4日	果樹共済(ぶどう)損害評価現地研修会	9月18日	事務職員採用二次試験
8月5日	第5回支所長会議、総務連絡会議	9月21日	懲戒委員会
8月8日	第1回幹部職員研修会(～10日)	9月26日	職階別研修(主幹職)
8月10日	家畜診療所長会議	9月27日	全国連第19回臨時総会

年 月 日	処 理 事 項	年 月 日	処 理 事 項
令和4年 9月27日	システム運用管理者養成研修会(情報セキュリティ実践コース)(～30日)	令和4年 11月11日	第2回園芸施設共済最重点地域担当者会議
9月29日	第3回理事会	〃	家畜診療所長会議
〃	第1回内部監査(総務課)(～30日)	〃	農林水産省主催法令等研修会
9月30日	第4回組合運営管理委員会	11月15日	令和5年度岡山県予算編成に関する各種団体個別懇談会
〃	第2回事業運営検討会(組織関係)	〃	損害評価会麦共済部会(災害収入)
10月5日	第7回支所長会議・総務連絡会議	11月17日	家畜診療等技術中国・四国地区発表会及び研修会(～18日)
10月6日	第2回全国参事会議	11月24日	全国NOSAI大会・NOSAI職員全国研修集会・役職員研修会(～25日)
10月7日	新採用職員フォローアップ研修	11月29日	中国地区総務・経理担当者会議
10月11日	中間監査(倉敷支所)	11月30日	収入保険加入推進テレビ会議
10月12日	中間監査(新見支所)	〃	中国四国地区家畜共済地区別協議会並びに 産業動物獣医師に関する獣医学系大学との懇談会
〃	危険段階別共済掛金率設定・適用ガイドラインの一部改正に係る全国説明会	〃	第2回未収金等債権管理委員会
〃	第2回幹部職員研修会(～14日)	〃	システム運用管理者養成研修会(Web技術・実践コース)(～12月2日)
10月14日	中間監査(真庭支所)	〃	第6回組合運営管理委員会
〃	第3回余裕金運用管理委員会	12月1日	損害評価会果樹共済部会(半相殺)
〃	第2回情報セキュリティ委員会	〃	事務職員採用一次試験
10月17日	中間監査(高梁支所)	12月4日	第3回監事会
〃	畑作物共済(大豆)損害評価現地研修会	12月5日	建物共済専門講習会(～9日)
〃	第3回管理職養成研修会(～28日)	〃	農作物共済担当者会議
10月18日	中間監査(東備支所)	12月7日	第9回支所長会議・総務連絡会議
10月19日	第3回コンプライアンス改善委員会	12月9日	農林水産省主催経理研修会
〃	令和4年度園芸産地における事業継続計画等推進研修会	〃	任意共済担当者会議
10月20日	中間監査(津山支所)	12月13日	損害評価会家畜共済部会
10月21日	中間監査(勝英支所)	12月14日	損害評価会水稻共済部会(半相殺)
10月25日	中間監査(岡山、井笠支所)	12月15日	〃
〃	任意共済全国研修会	〃	第2回内部監査(西部診)
10月26日	中間監査(本所)	12月18日	事務職員採用一次試験
10月27日	園芸施設共済担当者テレビ会議	12月19日	全国連第20回臨時総会
10月28日	令和5年採用職員内定式	〃	第2回内部監査(西部基幹診)
10月31日	第5回組合運営管理委員会	12月20日	第4回監事会、臨時監査
11月1日	第3回事業運営検討会(組織関係)	12月22日	第2回内部監査(蒜山診)
〃	収入保険重点組合推進個別テレビ会議	12月23日	第2回任意共済事業推進担当者テレビ会議
11月2日	第4回理事会	〃	第2回内部監査(生産獣医療支援センター)
11月7日	第4回広報担当者会議	12月26日	第3回全国特定組合長・会長会議
11月8日	第8回支所長会議・総務連絡会議	〃	指名競争入札委員会

年 月 日	処 理 事 項	年 月 日	処 理 事 項
令和4年 12月26日	第2回内部監査(南部診)	令和5年 2月16日	第3回全国参事会議
12月27日	第7回組合運営管理委員会	〃	全国広報委員会議、中国地区広報担当者会議(後期)
〃	第2回内部監査(北部基幹診)	2月17日	第3回西日本地区参事交流会議
令和5年 1月6日	第10回支所長会議、総務連絡会議	〃	第2回内部監査(勝英支所)
1月11日	岡山県常例検査(新見支所)	2月20日	コンプライアンス研修会(20日、27日、28日)
〃	収入保険推進テレビ会議	2月21日	岡山県常例検査講評
1月12日	中国地区参事会議(～13日)	〃	第5回コンプライアンス改善委員会
1月13日	岡山県常例検査(津山支所)	2月22日	園芸施設共済令和5年度加入推進会議
〃	備南支所・備中家畜診療所建設委員会	2月24日	採用内定者会社説明会
1月14日	事務職員採用二次試験(～15日)	2月27日	第9回組合運営管理委員会
1月17日	第4回コンプライアンス改善委員会	2月28日	懲戒委員会
1月18日	建物共済・中国地区損害評価技術研修会(～19日)	〃	第3回管理職研修会(～3月3日)
1月20日	第2回内部監査(倉敷支所)	3月1日	損害評価会果樹共済部会(災害収入)
1月24日	第2回内部監査(井笠支所)	〃	第2回内部監査(収穫共済課)
1月25日	農業保険システムのWeb化の開発状況に係る説明会	3月2日	損害評価会家畜共済部会、診療所運営委員会
1月26日	第4回余裕金運用管理委員会	3月3日	第2回内部監査(資産共済課)
1月27日	都道府県農業保険担当者及び組合総務・指導担当者会議	3月6日	第12回支所長会議、総務連絡会議
1月30日	第8回組合運営管理委員会	3月7日	中国地区農作物共済担当部課長会議(～8日)
1月31日	岡山県常例検査(本所)(～2月3日)	〃	第2回内部監査(収入保険課)
2月6日	第4回事業運営検討会(組織関係)	3月8日	第2回内部監査(家畜課)
〃	第11回支所長会議、総務連絡会議	3月9日	第6回理事会
2月7日	第2回内部監査(高梁支所)	3月10日	損害評価会水稻共済部会(半相殺)
2月8日	損害評価会水稻共済部会(全相殺、品質、インデックス)	〃	第2回内部監査(企画情報課)
〃	第2回内部監査(真庭支所)	3月13日	第2回内部監査(総務課)(～14日)
2月9日	第5回理事会	3月15日	NOSAI情報化全国会議
2月10日	第2回内部監査(岡山支所)	3月17日	第3回任意共済事業推進担当者会議
2月13日	第3回情報セキュリティ委員会	3月20日	第10回臨時総代会
〃	家畜診療所長会議	〃	指名競争入札委員会
2月13日	第2回内部監査(東備支所)	3月23日	第4回全国特定組合長・会長会議
2月14日	収入保険推進テレビ会議	〃	NOSAI協会第143回臨時総会、全国連第21回臨時総会
〃	美作支所・美作家畜診療所建設委員会	3月24日	中国地区参事会議
〃	第2回内部監査(津山支所)	3月28日	第13回総務連絡会議
2月15日	農業共済新聞全国研修集会	3月29日	指名競争入札委員会
〃	第2回内部監査(新見支所)	3月31日	辞令交付式

イ. 総代会

(ア) 第9回通常総代会（令和4年6月3日）

総代会日現在総代数	128 人	出席率
本人出席	91 人	71.09 %
代理出席	0 人	
書面出席	20 人	
出席者計	111 人	86.72 %

<重要な議事及び議決事項>

- 第1号議案 令和3年度事業報告書、財産目録、貸借対照表、損益計算書及び
剰余金処分案（不足金処理案）の承認について
 - 第2号議案 令和4年度事業計画、業務収支予算案及び家畜診療所収支予算案
の承認について
 - 第3号議案 令和4年度事務費賦課金の徴収額及び徴収方法について
 - 第4号議案 特別積立金の取崩しについて
 - 第5号議案 役員報酬額並びに損害評価会委員、損害評価員及び家畜診療所
運営委員手当額について
 - 第6号議案 役員退任慰労金について
 - 第7号議案 事業規程の一部改正について
 - 第8号議案 令和4年度借入金の最高限度額及び借入先について
 - 第9号議案 令和4年度余裕金預入先について
 - 第10号議案 農作物共済未収共済掛金等の損金計上について
 - 第11号議案 損害評価会委員及び家畜診療所運営委員の選任について
 - 第12号議案 役員の選任について
 - 第13号議案 実施体制の改善計画について
- 附帯決議

(イ) 第10回臨時総代会（令和5年3月20日）

総代会日現在総代数	127 人	出席率
本人出席	13 人	10.24 %
代理出席	0 人	
書面出席	102 人	
出席者計	115 人	90.55 %

<重要な議事及び議決事項>

- 第1号議案 事業規程の一部改正について
 - 第2号議案 職員給与規則並びに職員退職給与規則の一部改正について
 - 第3号議案 家畜共済危険段階別共済掛金率の設定について
 - 第4号議案 令和4年度業務収支及び家畜診療所の補正予算案について
 - 第5号議案 損害評価会委員の選任について
- 附帯決議

ウ. 組合員の増減

(人)

年度始組合員数	年度末組合員数	増減	摘要
56, 297	55, 253	△ 1, 044	年度始組合員数は年度当初の加入者である。

エ. 役職員その他

(ア) 役職員

(人)

役員数		理事		監事		合計			
		16		3		19			
職員数	部署	参事	総務部	事業部	家畜部	支所	生産獣医療 支援センター及び 家畜診療所	監査室	計
	性別								
	男	1	8	9	4	63	25	2	112
	女	0	8	4	1	35	18	0	66
計		1	16	13	5	98	43	2	178

※役員は非常勤のみ

※全国農業共済組合連合会派遣職員を含む

※臨時・嘱託職員を含む

(イ) 総代、損害評価会委員、損害評価員

(人)

総代	損害評価会委員	損害評価員
127	394	3, 198